

平成30年度 農地中間管理事業評価票

山口県農地中間管理事業評価委員会

評価値 A：適正である、順調である B：ほぼ適正である、ほぼ順調である C：取り組み強化、改善を要する

区分	評価項目	評価値			特記事項
		A	B	C	
1 事業実績	(1)集積実績		1		目標達成率24.3%、単純目標達成率から見るとCだが、全国対比評価でB。
				4	目標面積が多すぎるかもしれない。599/2,280≒26%
					取組は力を入れたとは思いますが、目標に対し半減。
					目標達成率は26%にとどまり、過去5年間でも最も低い結果となっている。
					担い手不足等の要因はあるものの前年度比大きく減少している。
	(2)出し手への対応		5		前年より減少している。
					種々の策を使い努力している。
	(3)受け手への対応		5		前年より減少している。
					種々の策を使い努力している。
					受け手が不足している。受け手の希望に配慮した出し手情報の収集も必要かと思う。
(4)マッチング	2			出し手と受け手、面積比をみると順調。	
		3		システム活用等効率化を促進。 公募管理システムは成果をあげているが、市町村段階での調整の更なる強化も望まれる。	
2 事業実施方法	(1)事業推進体制	4			集積の強化推進の為の情報対応や増員等体制強化がみられる。 体制の整備・強化がひき続き進められている。 機構の改革、農地集積推進員の増員等、体制面での強化が図られている。
			1		推進員も増員。
		2			人・農地プランを核に各団体と連携して事業推進に努めている。
	(2)県・市町・JAとの連携		2		連携には積極的対応がみられる。 関係機関との連携も強化された。
				1	市町、とくに農業委員会組織の活動が促進されるよう支援を重点的に強化することが望まれる。
		1			
	(3)現地での調整		4		関係機関の協力実績をみるとかなり減少している。 関係機関との連携も強化された。
		1			広報はよく耳にするほど実施された。
	(4)事業の啓発活動 (農業者への周知活動)		4		ターゲットにうまく届いているか。 周知活動に対する効果のチェックが出来ているのか。
		2			希望者数に対し実績が高い。
(5)公募に応じた者などの受け手ニーズへの対応		3		H28年経営体の貸付割合57%、H29年61%、H30年69.4%と每期伸びている。	

区 分	評価項目	評価値			特 記 事 項
		A	B	C	
2 事業実施方法	(6)「人・農地プラン」への関与等	1			
			3		検討委員会への参加は順調。 対前年以上の参画。
				1	市町・農業委員会との更なる連携強化が必要。
	(7)基盤整備との関係	1			
			4		
	(8)新規就農者や企業への対応	2			新たな事業も実施され、積極的対応がみられる。 次期担い手の増加の努力をしている。
			3		新規就農者を増やす取り組みが必要になると思う。 受け手の増を目指し、事業の周知と更なる推進に努めてほしい。
	(9)31年度に向けた推進体制・推進方法の改善	3			充実した計画内容となっている。 法改正を追い風とし、関係機関との更なる連携強化に期待する。 課題認識に基づいた推進体制や方法の改善が図られている。
			2		改善策や重点取組は良いと思います。
	[総合評価]		5		考えられる活動はよくしていると思う。増えない原因を明らかにして、それに対する活動となっているのか。集落営農法人数と集積の関係があるようなので、その辺を分析して対策をとるというやり方もあると思う。 前期までは、毎年順調にいていたが、今期は少し停滞がみられる。常に順調にいく事はないが、特に前年に比較し、その原因を徹底的に検討すること。 難しい事業と思うが、よく努力していると思う。 受け手の減により、集積がひと段落した状況にあるが、事業実施体制の見直しにより新たな進展が期待できる。 集積が一巡し、担い手不足もあり、今後の集積に課題が多いが、適正に事業運営がされている。

注 表中の「評価値 ABC」欄は、評価委員5名の評価状況を記載している。